

## み近な自然の形・色 (図工教科書 P.22~23)

私たちは、みのまわりに木や草花、小鳥や虫など、しぜんのものをいろいろと見ることができます。

そうした中で「石」に目をむけてみましょう。

ふたん、何気なく歩いている道ばたにも大小さまさまな石がころがっていますね。

そんな石の中から「とっておきの石

」を見つけてみましょう。

でも、とっておきってどういう意味？

分からない人は、辞書でしらべたり、家の人にきいてみたりしましょう。

とっておきの、意味がわかったら、「自分だけのとっておきの石」をさがしましょう(3こ以上)

ただし、今は「家にいる」という時なので、なかなかむずかしいですが、家のまわりやちょっと近くに買い物など、ひつようがあって外に出る時などに石をみつけてください。

それから、石をひろって、持ち帰る場合は[持ち帰ってもよい石]かどうかよく考えましょう。

また、石に気をとられて、ころんだり、人や車、ものなどにぶつかったりしないようにも気をつけましょう。

[とっておきの石] をさがすことができたら、

①教科書を参考にして石のならべ方を考えたり、工夫したりして、下の図に書きましょう。

②その石がなぜとっておきの石なのか、理由を書きましょう。

授業でつかうので、学校が再開したら[石]と[このプリント]を持ってきましょう。

① [とっておきの石] のならべ方

② この [とっておきの石] をえらんだ理由